



【 生き方学習（井波教育 A）の充実を 】

- 11月18日（金）、教育実践発表会が無事終わりました。県内から約60名の先生方や大学生が来校し、授業参観、協議会、講演を行いました。授業は、2年生活科「モルモットとなかよし」、6年総合的な学習の時間「井波を感じてみません課」の「**追究学習（井波学①）**」を公開しました。私は子供たちの成長に驚きました。**ノートやメモを見ることなく、自分の言葉で息の長い発言**をしているのです。これは、大人でも難しいと思います。そして、それを**聴く仲間**。これは、これまで**子供一人一人が自分の本当に追究したいことに正対し、心を込めて取り組んできた**ことが大きな要因です。
- 参観者からも、「あんなに自分を語れる子供たちがすばらしい。」「子供たちが互いに聴こうとする姿が印象的だった。」「聴き合いという特色が子供たちに身に付いていることがよく分かった。」「井波小学校の取組や授業の本気度をすごく感じた。」など、多くの嬉しい感想をいただきました。
- 上智大学の奈須正裕先生から、「個の学びの深まりと仲間との協働」という演題で講演していただきました。多くの参加者にとって、授業観や教育観を変える貴重な話でした。「**子供主体**」の考え方を基盤とする奈須先生は、「**子供が本気になって取り組むことが、学校生活や学級生活の中核となる。**」「**教師の下を離れても、子供が自立していける子供を育てる。**」など、私が大切にしていることを話していただきました。
- また、伝統的に実践を積み重ねてきている奈良女子大学附属小学校の「奈良の学習法」を紹介されながら、井波小学校の取り組んでいる方向性の正しさを述べていただきました。私も教職員も自信をもちました。ただし、充実した追究学習を実践するには、数年かかります。奈須先生や参観者から教えていただいたことを参考に、今後とも子供が育つための「**生き方教育（井波教育 A）**」に努めていきたいと、改めて思った次第です。

